

概 要

I. 保健管理センター概要

平成 25 年度

1. 保健管理センター職員

センター長	小 泉 順 二	(併任, 附属病院 教授)
教 授	吉 川 弘 明	(産業医・内科医)
准 教 授	北 浦 孝	(運動生化学)
〃	寶 學 淳 郎	(スポーツ文化論)
〃	足 立 由 美	(臨床心理士)
講 師	村 山 孝 之	(身体運動心理学)
助 教	清 水 美 保	(産業医・内科医)
〃	今 野 哲 雄	(産業医・内科医) (～平成25年12月)
〃	伊 藤 大 輔	(臨床心理士)
専門職員	亀 田 真 紀	(衛生管理者・保健師)
看 護 師	田 上 芳 美	(看護師)
保 健 師	池 田 美智子	(保健師)
〃	得 永 美 和	(保健師)
事 務	黒 崎 めぐみ	(学生支援課)

2. 非常勤講師等

客員教授	竹 越 靖 夫	(福井県済生会病院 AHA-ACLS センター長)
学 校 医	津 川 洋 三	角間地区担当 (内科)
〃	小 山 善 子	角間地区担当 (神経科精神科)
〃	飯 田 宗 穂	角間地区担当 (内科) (平成25年4月～)
〃	松 村 正 巳	角間地区担当 (内科) (～平成25年8月)
〃	吉 牟 田 剛	角間地区担当 (内科) (平成25年9月～)
〃	川 尻 剛 照	宝町地区担当 (内科)
〃	小 谷 岳 春	宝町地区担当 (内科)
〃	戸 田 重 誠	角間地区担当 (神経科精神科) (平成25年4月～)
非常勤講師	八重澤 美智子	角間地区担当 (国際機構 教授・学校心理士)
〃	石 川 誠 子	角間地区担当 (臨床心理士)
〃	浅 田 伸 史	角間地区担当 (臨床心理士)
〃	佐 野 隆 子	角間・鶴間地区担当 (臨床心理士)
〃	吉 田 安 希	角間地区担当 (臨床心理士) (平成25年4月～)
〃	柴 田 英 登	角間地区担当 (臨床心理士)
技術補佐員	柿 本 晴 美	(看護師)
〃	芦 原 百合子	(臨床検査技師)
〃	植 島 郁	(保健師)

あとがき

保健管理センター助教 伊藤大輔

警察庁から、2012年の自殺者数が、15年ぶりに3万人を下回ったことが報告されました。その理由に関しては、東日本大震災の影響や自殺対策の効果など、複数の要因が指摘されております。しかしながら、年代別にみると、19歳以下、20代の自殺者数は増加傾向にあり、職業別に見ても、学生・生徒の自殺が大幅に増加していることが示されています。このような現状から、内閣府も「自殺対策が着実に進んでいる一方で、若年層は予断を許さない」としています。自殺の原因や動機を特定できた者のほとんどが健康問題を理由にしており、上記の報告や大学の現状と合わせて考えると、やはり大学という機関における健康教育をこれまで以上に推進していく必要があるように感じます。

私も保健管理センターに赴任して2年が経とうとしていますが、学生と接する中で、健康管理のための知識や技能が身につけていないために、予防的な対応ができず、身体症状や精神症状が重症化し、大学生を送ることが困難になっている方々に多く出会いました。また、私が以前、臨床心理士として企業従業員の復職支援をしていた際には、業務を遂行する能力は非常に高いにも関わらず、健康管理がうまくいかないために、心身の体調を崩してしまい休職されている方々を多く見てきました。つまり、自殺対策のみならず、学生が学習目標を達成するために大学で学び、その後、社会で活躍するためには、身体的健康やメンタルヘルス、生活習慣、生活環境などの多角的視点から健康を捉え、それらをマネジメントするための知識や技能を習得することが不可欠だと強く感じるようになりました。

このような背景から、現在、学部講義を新たに担当し、ストレスマネジメント、睡眠や食事などの生活習慣改善を目的とした心と体の健康教育に重点をおいた授業を実施しています。そして、これらの講義を担当して気づいたことは、多くの学生が健康管理のための知識や技能の習得に対する意欲やニーズは高いものの、高等学校等の教育機関において、健康教育を受ける機会はほとんどないということです。そのため、大学で健康教育を実践していくことは、疾病予防の観点からも重要であり、さらには学生が自己実現を目指すための基盤となる力を養成することになると思います。そして、その役割を担う1つの機関が保健管理センターになるように思います。

上記は、もちろん私の個人的な考えに過ぎませんが、保健管理センターの各職員が有する学生や教職員の心身の健康管理や増進に関する議論を深め、協働しながら、これまで以上に質の高いサービスを提供できるようになればと願っております。

2014年1月

金沢大学保健管理センター年報・紀要
第6号（通巻40号）

平成26年3月

編集・発行：金沢大学保健管理センター

編集担当者：伊藤 大輔

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5254

FAX 076-234-4044

Eメール hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp
